

月刊 社会保険 9

2023 VOL.878

一般社団法人
全国社会保険協会連合会

9月10日～9月16日は自殺予防週間です。

働く女性の母性健康管理に取り組みましょう!

【事業主のみなさまへ】

「ひとり親」の就労をご支援ください 助成金制度と母子・父子福祉団体等のご紹介

【企業内での人材育成に取り組む事業主のみなさまへ】

国内・海外の大学院で訓練を受講した場合も訓練経費等の助成が受けられます
～人材開発支援助成金「人への投資促進コース」成長分野等人材訓練～

【事業主の方へ】

雇用関係助成金を電子申請しませんか?

より使いやすく 電子申請できる雇用関係助成金の対象が拡大します。

新型コロナワクチン 令和5年度接種について

9月10日～9月16日は自殺予防週間です。	4
働く女性の母性健康管理に取り組みましょう!	6
【事業主のみなさまへ】 「ひとり親」の就労をご支援ください 助成金制度と母子・父子福祉団体等のご紹介	8
【企業内での人材育成に取り組む事業主のみなさまへ】 国内・海外の大学院で訓練を受講した場合も訓練経費等の助成が受けられます ～人材開発支援助成金「人への投資促進コース」成長分野等人材訓練～	10
【事業主の方へ】 雇用関係助成金を電子申請しませんか? より使いやすく 電子申請できる雇用関係助成金の対象が拡大します。	12
新型コロナウイルス ワクチン 令和5年度接種について	14
年金制度の理念と構造 ―ポイント解説 第5回 年金額改定の仕組みと考え方 日本総合研究所特任研究員(前厚生労働省年金局長) 高橋 俊之	16
労働法のポイント 第17回 労働者死傷病報告 監修/社会保険労務士法人SKMオフィス	18
年金・健康保険委員活動報告 社会保険委員会の活動について 株式会社デンケン 常務取締役 大村 祥夫	20
新たな時代の働き方改革 ―仕事の「ムダ」がなくなる超・時短術 第5回 資料時短で効率と効果をアップする 株式会社クロスリバー代表取締役 CEO 越川 慎司	22
書評 つじたまさのり 著/「戦前」の正体 ―愛国と神話の日本近現代史	24
がんケア、さらなる社会化に向かって 第5回 複数の主治医が支える、これからのがん医療のかたち NPO 法人キャンサーリボンズ 編	25
認知症を予防する⑥ 第5回 P38 MAPキナーゼがアルツハイマー病の治療薬の標的分子 お茶の水健康長寿クリニック院長 白澤 卓二	28
社会保険Q&Aシリーズ 健康保険編 30/年金保険編 32/労働保険編 34 特定社会保険労務士 柳田 恵一	
介護保険の基礎講座 第5回 通所介護(デイサービス)と通所リハビリテーション(デイケア)について 介護支援専門員・社会福祉士 伊藤 直美	36
表紙写真・千葉県君津市 濃溝の滝/イラストレーション・水森亜土/デザイン・編集協力・(有) フェイム/印刷・(株) アイネット	



Web版はこちらよりご覧になれます。
<https://www.zensharen.jp/ebook/2309/>
 パスワード: vbuy8



社会保険委員会の活動について



株式会社デンケン 常務取締役

おおむら さちお
大村 祥夫

地域の紹介

宇和島市についてご紹介します。宇和島市は愛媛県西南部(南予地方)の中心都市で、現在の人口は約7万人です。県庁所在地の松山市から90キロほど南下した位置にあります。よく言われますが、宇和島といっても島ではありません。西はリアス式海岸の宇和海、東は急峻な鬼ヶ城山系に囲まれた起伏の多い複雑な地形をしており、それを活かした農業(みかんなどの柑橘類・米の生産)や水産業(真珠・タイ・ハマチの養殖)が盛んです。旧宇和島市・吉田町・津島町・三間町が平成17年に合併して現在の宇和島市になりました。

◆宇和島城

宇和島市は、街の真ん中の小高い丘の上に宇和島城があります。宇和島城は1615年に伊達政宗の長男・秀宗が入城後、明治を迎えるまで、西国の伊達9代の居城でした。現在は現存12天守のひとつとして国の重要文化財に指定されています。過去に二度大修理を受けていますが、昔の姿を今もなお伝えていきます。今年のゴールデンウィーク(5月4日・5日)には恒例となる「伊達なうわじまお城まつり」が開催され、約40年前の秀宗公の宇和島入部を再現する「秀宗公入部伊達五十七騎大武者



宇和島城



うわじま牛鬼まつり



宇和島闘牛

行列」をメインプログラムに据えたイベントが行われました。両日とも多くの観光客で賑わい、大盛況となりました。さらに9月ごろの実施を目指して「謎解きイベント(仮)」の検討もされているとのこと。宇和島城を核とした観光に街をあげた盛り上がりを見せています。

◆うわじま牛鬼まつり

先述したとおり宇和島市は海と山に囲まれた地形であり、その山の険しさからかつては交通の便があまりよくありませんでした。ですがそれはかえって地域独自の文化を育みました。そのひとつとして「祭り」の文化が挙げられます。毎年7月下旬に開催される「うわじま牛鬼まつり」ではその名の通り「牛鬼」が街中を練り歩きます。牛鬼は南予地方に伝わる山車の一種です。巨大な牛のような胴体は竹を割って骨組を組み、シユロの毛または布で全身をおおいます。それにキリンのように長い首と、角が2本生えた鬼の面がつけられ

ます。長さは5〜6m、幅3mほどにもなり、20〜30人の屈強な男たちが担ぎ上げます。普段はおだやかな気質の宇和島の人も、祭りの最中は熱気にあふれます。祭りは3日間にわたり行われ、牛鬼以外にも若者たちを中心としたダンスイベント「ガイヤカーニバル」や南国風情たっぷりの盆踊りのような曲調の「宇和島おどり」、海上から打ち上げる花火大会など宇和島の夏の始まりを告げるイベントとなっています。

◆宇和島闘牛

宇和島独自の文化といえば「宇和島闘牛」を忘れてはいけません。闘牛といえばスペインの闘牛をイメージする方も多いと思いますが、日本の闘牛は牛対牛の相撲のようなものです。現在、日本の中でも6県のみで行われている闘牛ですが、宇和島闘牛は年4場所開催しています(1月・5月・8月・10月)。「逃げた方が負け」というシンプルなルールに従い取組みが行われ、緊迫した空気の

中、牛同士の本能的ぶつかり合いに観客たちは息を吞みます。1トン級の大きな牛が頭を突き合わせる鈍い音、時には相手に転がされてしまう牛や怖じ気づき土俵の中を走って逃げてしまう牛など、闘いの様子はさまざまです。実際に闘牛場に足を運び、この臨場感あふれる熱闘を楽しんでみてはいかがでしょうか。

会社の紹介

私が勤務している事業所を紹介いたします。弊社は、1983年設立し、愛媛県宇和島市を拠点として、今日まで地域に密着した情報サービスを提供し、地域の皆様に支えられて歩んできました。社名の由来は、ドイツ語の「denken」。「思考する」という意味を持つこの社名のもと、常にお客様の立場に立ち「考えて行動を起こす」「考動」を基本方針として事業を展開しています。

そのひとつが、お客様のニーズを満たすオーダーメイドのシステムの自社開発。パッケージソフトウェアではお客様のシステムの仕様を満たせないシステムの提案、設計、開発から保守まで自社一貫体制でお応えしています。

また、既存システムの問題点を解消

委員活動について

宇和島委員会の活動としましては、年間を通じて各種会議の開催、普及啓発のための講習会や研修会、そして被保険者及び家族参加での健康推進事業を行っておりますが、新型コロナウイルス感染症が拡大し始めた2020年の2月ごろからは委員会活動はもとより社会活動そのものが止まっておりました。昨年より少しずつ委員会活動も再開し、健康推進事業である「健康ウォーク」は2020年こそ中止となりましたがなんとか開催出来ております。

コロナ禍における開催については難しい判断でしたが、外出制限などにより息苦しい毎日を過ごされてきた参加者

の皆さんには本当に喜んでいただくことが出来ました。この健康ウォークは宇和島市のお隣、西予市野村町で開催しております。ご存じの方もいらっしゃると思いますが、この野村町は2018年の西日本豪雨で甚大な被害を受けた地域でもあります。集合場所として利用させていたいただいた乙亥会館も大きな水害にあいましたが、行政、地域の住民の方のお力で現在では復興がなされております。その乙亥会館を出発し5キロコース、10キロコースそれぞれの参加者が、自然豊かな山あいの道を散策しながら歩きます。参加者からは「風が気持ちよかった」「疲れたけどいい汗かけたと毎年うれいしいお言葉をいただいておりますので、今後も続けていきたいと考えております。

本年5月には新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられました。この3年間は我慢の連続だったと思います



株式会社デンケン (宇和島バス本社ビル2F)

が、これからも様々な活動を通じて地域の皆様、そして子供達の笑顔を取り戻していきたいと思えます。最後になりますが、宇和島市は四国の中の小さなまちのひとつですが、食・文化・自然・産業・人など地域ならではの「ホンモノ」に出会うことができるまちです。ぜひ一度「ココロまじわう」を「ココロ」うわじまにお越しください。

(宇和島社会保険委員会 会長)